

技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	☒ 安全 ☐ 防災 ☐ 環境 ☐ コスト ☐ ICT ☐ 品質 （該当する分類に○を付けてください）																	
技術名称	KTBスーパーメタルフレーム工法	担当部署	九州支部															
NETIS登録番号	KT-000115-VE	担当者	有水 弘行															
社名等	KTB協会・PCフレーム	電話番号	092-725-7889															
技術の概要	1. 技術開発の背景及び契機 本工法は斜面安定用受圧板として、鋼製フレームを使用した法枠アンカー工法で、従来は現場打コンクリート2次製品の法枠で対応していた。本工法により受圧板の軽量化、施工性の向上、自然との調和した景観を考慮した形状が期待できる。 本材は、亜鉛・アルミニウム容射を施した鋼板フレームで完全防錆され優れた耐久性・耐候性を発揮します。中空密閉型で極めて軽量（コンクリート受圧板の1/6）です。角度調整台座により現場で自在に角度調整ができます。軽量で大型重機を必要とせず、耐久性に優れ、製品コストも施工コストも大幅に縮減できます。 2. 技術の内容 ①何について何をする技術なのか？ ・斜面安定用受圧板として、鋼製フレームを使用した法枠・受圧板アンカー工法 ②従来はどのような技術で対応していたのか？ ・従来、現場打コンクリート法枠やコンクリート2次製品の法枠（プレキャストコンクリート製フレーム）が主流であった。 ③公共工事のどこに適用しますか？ ・斜面や崖面の斜面崩壊や地すべり防止のための法枠アンカー工法 ・擁壁保護のための法枠アンカー工法 3. 技術の効果 ①どこに新規性があるのか？（従来技術として何を改善したか？） ・素材をコンクリートから鋼製にした。 ・コンクリート1色から、多彩な色調になった。 ②期待される効果は？（新技術のメリットは何か？） ・受圧板の軽量化（コンクリート2次製品に比較し1/5～1/6） ・施工性の向上（軽量化により） 4. 技術の適用範囲 条件 ①自然条件：スーパーメタルフレームが取り付け可能な事 ②現場条件：受圧板設置面が平らに整形できる ③技術提供可能地：技術提供地域については制限無し ④関係法令等：労働安全衛生法 ⑤特に効果の高い適用範囲 ・地山切取り時にすぐにアンカー力を導入できる現場（逆巻き施工） ・高地で作業する現場（軽量のため） ⑥適用できない範囲：オーバーハングのり面等、受圧板設置面が平らに整形できない場所 適用にあたり、関係する基準および引用元：グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説（地盤工学会）平成24年5月31日第1刷・全項目）/グラウンドアンカー施工のための手引書（日本アンカー協会）平成18年6月1日刷・全項目・/KTB スーパーメタルフレームアンカー工法設計・施工の手引き（平成23年8月） 5. 活用実績（H31年3月現在） <table border="1"> <tr> <td>国の機関</td> <td>272件（九州</td> <td>33件</td> <td>、九州以外</td> <td>239件）</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td>1351件（九州</td> <td>158件</td> <td>、九州以外</td> <td>1193件）</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td>47件（九州</td> <td>11件</td> <td>、九州以外</td> <td>36件）</td> </tr> </table>			国の機関	272件（九州	33件	、九州以外	239件）	自治体	1351件（九州	158件	、九州以外	1193件）	民間	47件（九州	11件	、九州以外	36件）
国の機関	272件（九州	33件	、九州以外	239件）														
自治体	1351件（九州	158件	、九州以外	1193件）														
民間	47件（九州	11件	、九州以外	36件）														

6. 写真・図・表

亜鉛・アルミニウム溶射を施した鋼板フレームで完全防錆され、優れた耐久性・耐候性を発揮します。中空密閉型で極めて軽量(コンクリート受圧板の約1/6)です。角度調整台座により現場で自在に角度調整ができます。



スーパーメタルフレームアンカー工法